

第1学年国語科学習指導案

1年1組 33名

1 単元名 「おもい出して かこう ～いい こと いっぱい、一年生～」

2 単元の目標

- ◎自分の思いが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えることができる。
- 言葉には、経験したことを伝える働きがあることに気付くことができる。
- これまでの学習や経験をいかし、事柄の順序に沿って構成を粘り強く考えながら、1年生の思い出を伝える文章を書こうとすることができる。

3 観点別評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○友達のきらきらカードを見て、言葉には経験したことを伝える働きがあることに気付いている。	○1年間の思い出を振り返る中で、書きたいことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。 ○書くことにおいて、自分の思いが明確になるように、事柄の順序（はじめ—中—終わり）に沿って簡単な構成を考えている。	○これまでの学習や経験をいかし、きらきらカードをたくさん集めて、積極的に新1年生へ思い出を伝える文章を書こうとしている。

4 単元について

本単元は、自分の成長を振り返ったり、書いた文章を交流したりする中で、児童に「こんなにできることが増えた」「こんなこともできるようになった」という成長の実感や達成感を味わわせることが目的である。自分の経験や成長について振り返り、書こうとする題材に必要な事柄を集めたり、経験を思い出したりといった活動を繰り返し、楽しく書く活動を積み重ねることが、書く力の定着につながる。本単元と各教科等の学習を関連付けて行うことで、自分の成長を実感し、自己肯定感を高めることができるようにしていく。

5 研究主題に迫るための手だて

(1) 意欲を高める

- 主体的に学習に取り組めるように、新1年生に学校生活のことを伝える「1年間の思い出文集」を作り、1年生を迎える会でプレゼントするという目的がもてるようにする。さらに、学習計画を立て、見通しをもって学習を進めることができるようにする。

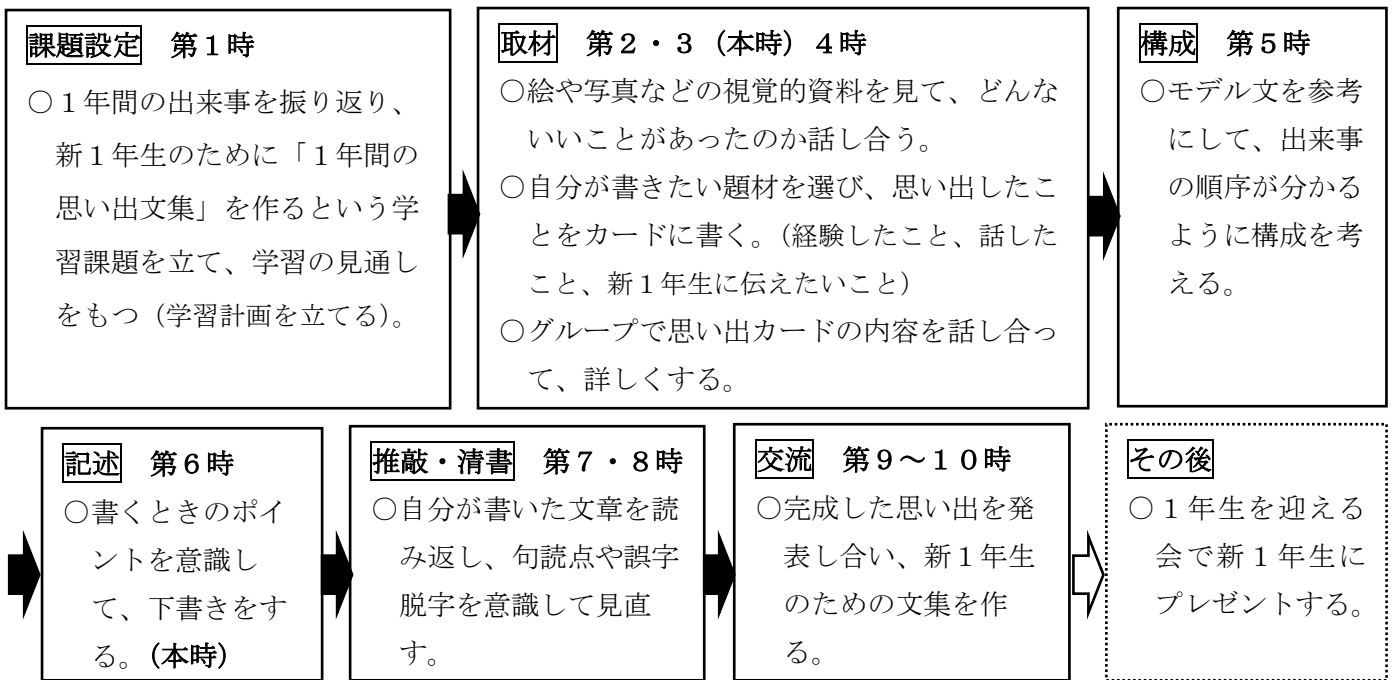
(2) 思考を深める

- 作文を詳しく書けるようにするために、絵や写真などの視覚的資料を掲示したり、インタビュー活動の場を設定したりして、出来事を詳しく思い出せるようにする。
- 考えを深めることができるように、同じテーマのグループで、経験したことや思ったことを紹介し合う活動を設定する。

(3) 知識・技能の習得

- 書き方を理解したり、構成を考えて書いたりすることができるように、モデル文や書き方のポイントを提示する。

6 指導計画



7 本時について（3／10）

（1）本時の目標

自分の選んだ題材について思い出したことをカードに書くことができる。

（2）本時の展開

○学習活動	◇指導上の留意点 ☆評価 ◎研究主題に迫るための手だて
<p>○学習計画表を見て、前時の学習を振り返り、本時の内容を確認する。</p>	
<p>おもい出したことやしん1年生につたえたいことを きらきらカードにかこう。</p>	
<p>○きらきらカードに思い出したことを書く。 （したことや話したこと、新1年生に伝えたいことの視点で色分けした短冊に書く）</p>	<p>◇1枚のカードに1つの事柄を書くようにする。</p> <p>◎絵や写真などの視覚的教材を提示して1年間の出来事を思い出すことができるようにする。</p>
<p>○友達にインタビューをして、思い出したことを書き足す。</p>	<p>◎インタビュー活動を通してその時のことを詳しく思い出すことができるようにする。</p>
<p>○学習計画表をもとに、学習の振り返りをする。</p>	<p>◇インタビューしたことから思い出したことを新しい短冊に書くようにする。</p> <p>☆思い出した出来事や、それにまつわる事柄をカードに書くことができている。</p>
<p>○学習計画表をもとに、学習の振り返りをする。</p>	<p>◇学習計画表をもとに学習を振り返り、カードに書けたことを確かめ、できたことや頑張ったことを実感できるようにする。</p>

第1学年国語科学習指導案

1年2組 33名

1 単元名 「おもい出して かこう ～いい こと いっぱい、一年生～」

2 単元の目標

- ◎自分の思いが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えることができる。
- 言葉には、経験したことを伝える働きがあることに気付くことができる。
- これまでの学習や経験をいかし、事柄の順序に沿って構成を粘り強く考えながら、1年生の思い出を伝える文章を書こうとすることができる。

3 観点別評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○友達のきらきらカードを見て、言葉には経験したことを伝える働きがあることに気付いている。	○1年間の思い出を振り返る中で、書きたいことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。 ○書くことにおいて、自分の思いが明確になるように、事柄の順序（はじめ—中—終わり）に沿って簡単な構成を考えている。	○これまでの学習や経験をいかし、きらきらカードをたくさん集めて、積極的に新1年生へ思い出を伝える文章を書こうとしている。

4 単元について

本単元は、自分の成長を振り返ったり、書いた文章を交流したりする中で、児童に「こんなにできることが増えた」「こんなこともできるようになった」という成長の実感や達成感を味わわせることが目的である。自分の経験や成長について振り返り、書こうとする題材に必要な事柄を集めたり、経験を思い出したりといった活動を繰り返し、楽しく書く活動を積み重ねることが、書く力の定着につながる。本単元と各教科等の学習を関連付けて行うことで、自分の成長を実感し、自己肯定感を高めることができるようにしていく。

5 研究主題に迫るための手だて

(1) 意欲を高める

- 主体的に学習に取り組めるように、新1年生に学校生活のことを伝える「1年間の思い出文集」を作り、1年生を迎える会でプレゼントするという目的がもてるようにする。さらに、学習計画を立て、見通しをもって学習を進めることができるようにする。

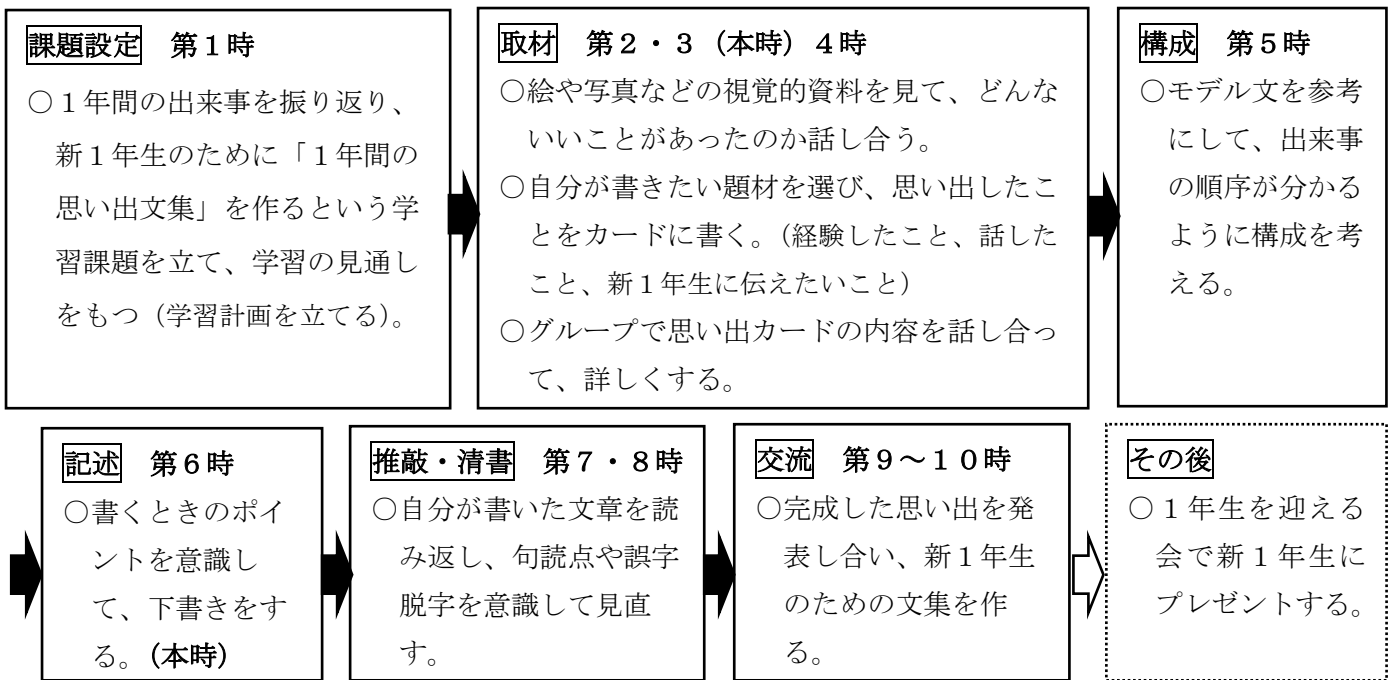
(2) 思考を深める

- 作文を詳しく書けるようにするために、絵や写真などの視覚的資料を掲示したり、インタビュー活動の場を設定したりして、出来事を詳しく思い出せるようにする。
- 考えを深めることができるように、同じテーマのグループで、経験したことや思ったことを紹介し合う活動を設定する。

(3) 知識・技能の習得

- 書き方を理解したり、構成を考えて書いたりすることができるように、モデル文や書き方のポイントを提示する。

6 指導計画



7 本時について

○本時の目標（全6/10時）

- ・きらきらカードもとに簡単な構成にしたがって、語と語、文と文との続き方に注意しながら、文章を書くことができる。

○本時の展開

○学習活動	◇指導上の留意点 ☆評価 ◎研究主題に迫るための手だて
<p>○学習計画表を見て、前時の学習を振り返り、本時の内容を確認する。</p> <p>○前時に考えた構成をもとにして、文章の書き方を確かめ、めあてを確認する。</p>	<p>◎文章に書く際に、どんなポイントがあるか、前時まで確認したことを示す。</p> <div data-bbox="727 1339 1347 1503" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・さいしょに、したことをみじかくかく。 ・つぎに、くわしくおもい出したことをかく。 ・おわりに、しん1ねんせいにつたえたいことをかく。 </div>
<p>よむ人がわかりやすいように、じゅんばんにきをつけて文しょうをかこう</p>	
<p>○モデル文や書き方のポイントを見ながら、文章を書く。</p> <p>○書いた文や、学習計画表をもとに、学習の振り返りをする。</p>	<p>◎モデル文を提示することで、書き方を理解したり構成を考えて書いたりすることができるようにする。</p> <div data-bbox="715 1722 1474 1818" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・はじめ・中・終わりに分けて書く。 ・段落を変えて書く。 ・マスの書き方の掲示 ・「 」の使い方 </div> <p>◇書いたら間違いがないか、声に出して読み返すようにする。</p> <p>☆簡単な構成を考えて、順序立てて書いている。</p> <p>◇書いた文や、学習計画表をもとに、できたことや頑張ったことを振り返り、成就感や達成感がもてるようにする。</p>

